

THAI STUDY TOUR 2017.9.8~12



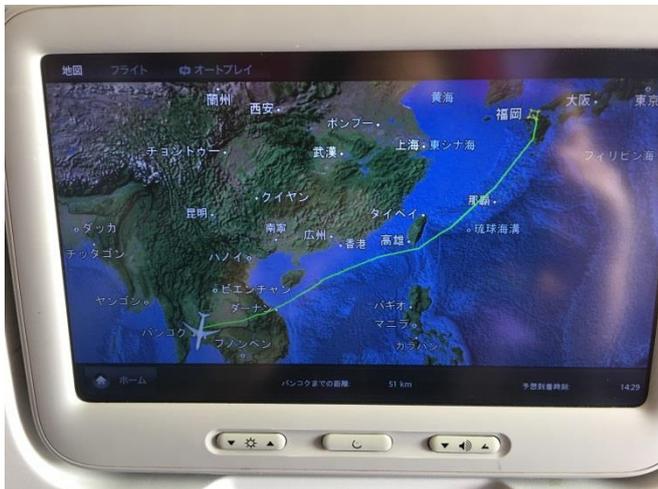
9月8日(初日)

タイ航空 TG649 便にて、福岡からバンコクへ✈



タイ航空の座席はすこしゆったり^^

座席には、USB 充電と映画・ゲームができるパネルがついていて、飛行中も退屈せずに楽しめました。



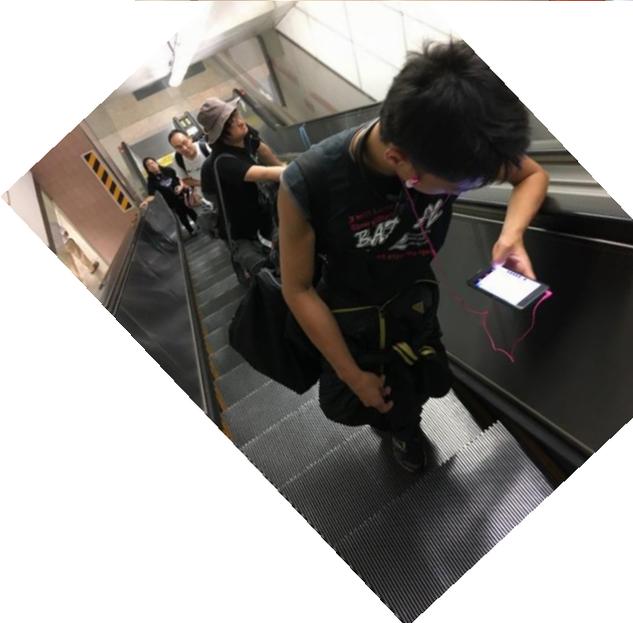
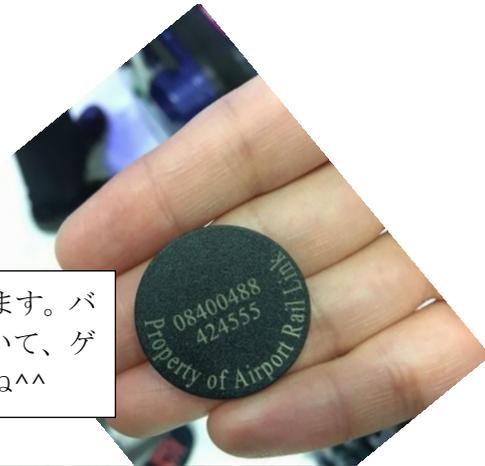
さすが！タイ航空の機内食♡ TGの機内食は特に評判らしく、去年の機内食も満足の美味しさでしたが、写真を見返すと・・・^^;;



まずは日本円をタイバーツに両替します。
みんな自分で両替できました。



空港からエアポートライン→MRT（地下鉄）に乗換てホテルへ向かいます。バンコクの電車チケットはハイテクで、このコインにデータが詰まっています、ゲートにかざすと読み取って通過できます。紙をつかわないしエコですね^^



バンコクの地下鉄エスカレーターの速度が速くてビックリ！！
実はこれ、日本が特に遅いらしく、体が不自由な方や小さな子どもが安全に乗れるようにとの配慮なのだそうです。
香港やモスクワのエスカレーターも脅威のスピードらしく日本の感覚で乗ると乗り損ね続出との噂ですよ^^
ぜひ世界のエスカレーターを乗り比べてみて下さい^^ (笑)



ウェルカムドリンクは菊花茶！目の疲れなどにも効果的なハーブティとしても親しまれているそうです。もちろん甘目いただきました^^

タイ1日目の夜は、サラディーン駅近くのコンヴェント通りにある、ソムタム（パパイヤのサラダ）が美味しくて評判のお店へ
その名も「SOMTAM CONVENT」そのままなので分かりやすい（笑）



ソムタム：青パパイヤの千切りのスパイシーサラダ。元々はタイ東北の料理。



パッタイ：コシのある米麺を使った甘辛味の炒め麺。屋台などでも人気メニューの一つです。今回の旅行でも大人気で何度も食べていましたね^^



串刺しの卵は、カイピン（カイ・卵+ピンツ・炙り焼き）です。生卵に小さい穴から卵の中身を抜き、味付けして再度卵に戻して、蒸し、串刺しにして焼いたものです。味はおでんや茶碗蒸しのような味で人気だそうです。



ホテルでの朝食の様子ビュッフェ形式で、種類も豊富！！朝から1日のエネルギーチャージするには、ばっちりです^^



2日目は、プラティーブ財団へ訪問予定♪ 坂本くんがゲームでゲットしたぬいぐるみをプレゼントに持ってきました^^喜んでもらえそうで楽しみです！！





今回の訪問では、奨学生の子供達との「再会」でもあり、お互いに親しみを持って交流したり、アクティビティ活動としてペットボトルで魚を作りました。

←昨年 ペットボトル作家さん(?)の家を通った時の写真です。魚だけでなく、色々な作品で家がデコレートされていました^^



日本のお菓子・雑貨が大人気!! タイでも日本のメーカーのお菓子が販売されているのですが、日本から持っていった「日本語表示のみの」日本のお菓子が大喜びしてくれました。タイでは、大人から子どもまで日本のものは人気で、最近では特に抹茶がブームの様です。お菓子やカフェのメニューにも抹茶フレーバーをよく目にしました。



スラムに暮らす大学 2 年生のグロンガンさんの自宅を訪問しました。おばあさんとネコの 3 人暮らしで、おばあさんは、病気でほとんど動けないので、おばあさんの世話をしながら、大学の勉強をがんばっているそうです。日本の生活では、「あれがないと、これがないと...できない」と言いがちですが、人間はどんな環境でも意志があれば何でもできると感じました。





財団の中には、こんな造花がたくさん！
 昨年亡くなられたプミポン前国王の葬儀の為、ひとつ一つ手作りされていました。10月25～29日の葬儀では、国民ひとり1人が遺体に花をささげ、一緒に火葬されるそうです。



タイのお葬式事情...国民に愛された前国王！2016年10月に亡くなって一年保存するなんて！こんな暑い国でどうやって??！ちょっと疑問だったので、尋ねてみると、防腐設備の中で冷蔵保管しているそうで、タイでは国王に限らず亡くなった遺体をしばらく冷蔵保管することは一般的なのだそうです。

プラティープ財団では、スラムの子ども達だけでなくお年寄りのお仕事サポートとして「きのこの栽培」をしていました。写真左の袋に入っているのは、おがくずブロックを菌床にして栽培しているそうです。スラムの問題は、安定した収入がないこともあり、少しでも安定した収入、仕事ができるよう工夫されている様でした。



いい笑顔 ^^



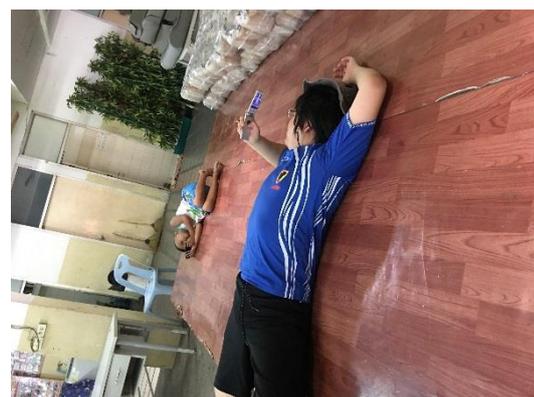


ランチは、財団にて魚のつみれが入ったラーメン（バミーナーム）とランブータン・ラムヤイという季節のフルーツを頂きました。甘めのラーメンでちょっと不思議な味が印象的でした^^



←ランチの準備の様子です。奨学生の子も達は年齢を超えてとてもみんな仲が良さそうです。朝8時半に集合という長時間だったようですが、年長のお兄さん、お姉さん達が小さい子供達が退屈しないよう話を盛り上げたり、しりとりや連想ゲームなどで楽しく過ごしている様子を垣間見ることができました。

シーリングファンが回る開放的な空間で、子ども達とまったり過ごすことが出来ました。
 スタッフのお子さんとゴロゴロ^^ (笑)
 昨年までの、会議室での交流よりも打ち解けて話もすることが出来ました！





UFO キャッチャーの達人！坂本くんがゲットしたぬいぐるみのプレゼントに奨学生みんな大喜びでした^^喜んでもらえるところも嬉しいです^^来年の訪問に向けて、またゲットお願いします（笑）



1年ぶりに再会した奨学生、プラチーブ財団スタッフのみんなと一緒に記念撮影！
また来年もお互いに成長して再会できることを楽しみにしています！





午後は Lumpini 公園へお散歩♪
 街のオアシス的存在であり福岡の大濠公園のような印象でした。日中は暑くて人は多くなかったですが、早朝や夕方は、ジョギングやヨガ、エアロビクスなど多くの人々に活用されているようです。



昼間は暑かったので、公園内の図書館に入ると、多くの人々がエアコンの効いた部屋でくつろいでいました^^ 憩の空間ですね！



Lumpini 公園にて、野生のワニに遭遇できました^^ラッキー！！



タイのバイクは何人乗れるか限界に挑戦した人を見かけることがよくあります(笑)
 Lumpini 公園前の様子♪



ホテルのプールも満喫できました！
 南国のリゾートな雰囲気も楽しめました^^



9月10日(日)3日目
アユタヤ 1DAY trip



この日の降水確率は 80%ということで、雨が降る前にエレファントキャンプへ！！
象に餌付けをしたり、象に乗ったりしました。今回は階段を昇り降りしたり、池の中を歩いたり、とっても貴重な体験ができました。象の身体能力の高さを改めて実感しました。サーカスなどでも象が玉乗りするくらいの能力があるので、象は昔からタイの人々の生活を支えてきたパートナーとしての存在という事にも納得でした^^



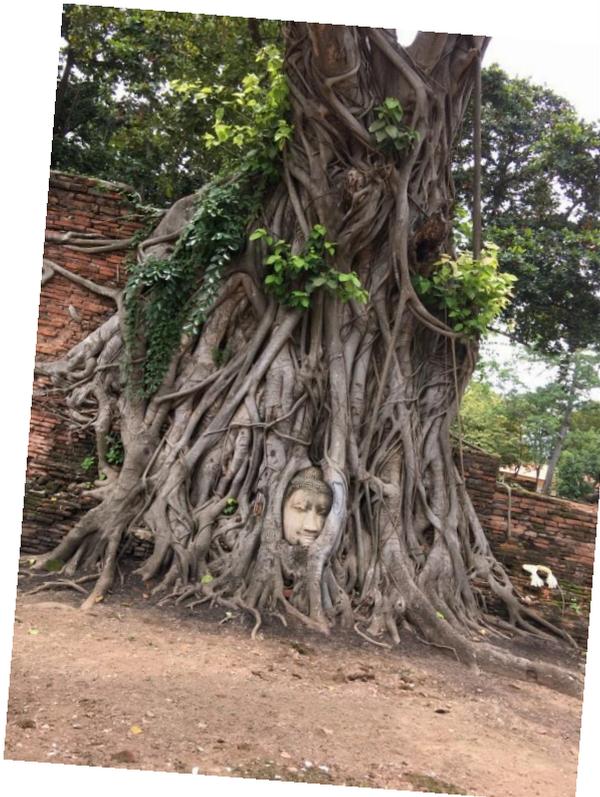
アユタヤ ツーリストセンター
アユタヤの観光マップをゲット！館内に資料館がありアユタヤの歴史など分かりやすい展示がありました。





アユタヤはタイ中部に位置し運河を活かして繁栄した都市です。中国・インド・ヨーロッパを結ぶ位置とチャオプラヤ川の水運利用して、アユタヤ王朝時代には王家を中心とした独占的な貿易が盛んに行われました。17世紀にはアジア、アラブ・ペルシアやヨーロッパと活発に貿易を行い、アジア屈指の国際都市として成長し、日本・琉球とも深い関わりがあり日本人町も残されていました。

富を得たアユタヤは当時繁栄していたクメール文化を吸収しつつ、中国、ヨーロッパ、ペルシヤなどの文化の影響を受けた独自の華やかな文化が発展していったことが遺跡を訪ねた時にも感じることができました。



1767年ビルマ軍の攻勢に敗れて王朝が絶滅し、アユタヤには、破壊され廃墟と化した寺院や宮殿が多く残されています。

ワット・マハタート (写真：左、下)

1374年にアユタヤ王朝の3代目の王によって建てられ、1767年ビルマ軍の侵入によって破壊され多くの仏像の頭部が破壊されていたのが印象的でした。中でも仏頭のみが木の根に取り込まれ年々木の成長とともに上昇しています!!! 神が宿ってます!!! (≧▽≦)



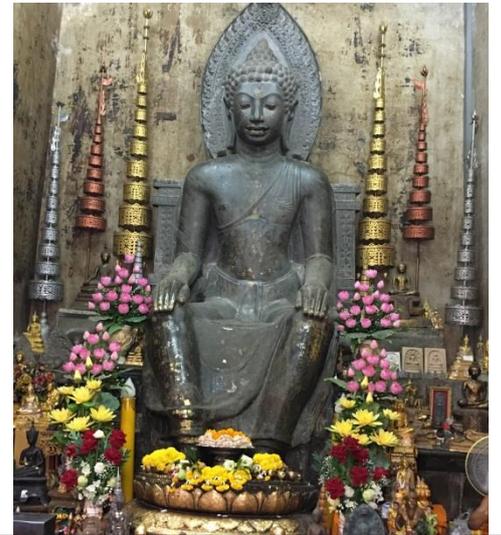


この寺院のご本尊は高さ 5m の巨大な王仏で、冠をかぶっているとても珍しい大仏です。
巨大な黄金の迫力と、どこを見ているのか、全てを見透かしているようで、インド的でおやかな顔が印象的でした。

アユタヤ島外、島の北側に位置する寺院：創建当時の名称はワット・プラメーン・ラーチカーラームです。

「ワット・ナー・プラメーン」の「プラ・メーン」：須弥山(シュミセン)で、国王の葬儀場を指しています。「ナー」：前という意味なので、「ワット・ナー・プラメーン」：「国王の葬儀場前の寺」の意味です。

この寺院は、アユタヤ滅亡時に破壊されなかった数少ない寺院としても有名です。



小仏殿内には、有名なドバーラバティ様式の仏像もありました。

7～10 世紀頃タイ中部で盛行したモン族の仏教美術とも言われ、インド・グプタ朝文化の影響を受けているようです。花に囲まれて、おだやかなほほえみに優しいオーラがあふれていました。

16 世紀終わりごろ、ビルマ軍との戦いに象に乗って戦い勝利した 19 代王ナレスワン王を記念して高さ 72m もの仏塔もここに建てられています。この仏塔には仏舎利(釈迦の遺骨)が納められていると言われ、途中まで登ることができました。8 体の仏像と井戸の様な穴があり、コインを落として井戸に入ると願いが叶うと言われています。20 バーツ払うと金箔を仏像に張りお参りする事もできました。

ワット・ヤイ・チャイモンコン

14 世紀中ごろ、アユタヤ王朝初代王がスリランカから帰国した修行僧の瞑想の場として建立した寺院！！



白く輝く巨大な涅槃像の足の裏のくぼみに、コインをはめて、落ちなければいい事が起こるとか...^^

なぜ黄色？タイの僧侶や仏像がまとう衣はなぜ黄色なの？

諸説あるようですが、法衣のオレンジがかった黄色は検診と至福を意味し、高い精神性を表すそうです。でもでも、なぜオレンジ？黄色？それはブッダが力を放つ時、青、黄、赤、白、オレンジの光を放つといわれ、オレンジは仏様の聖なる体を包む袈裟の色としてあらゆる侮辱や迫害、誘惑などに耐え、怒らない「忍辱」を表しているという説もあるそうです。



アユタヤでも、パッタイが美味しいと評判のお店でランチ！雨の予報考慮してプラン変更していたのが幸いして、雨に合わずにアユタヤを満喫する事ができました！



帰りは激しいスコールが降る中、爆睡でバンコクへ戻りました。



アユタヤ日本人町は、14～19世紀までタイのアユタヤ王朝にあった日本人が暮らした町です。特に山田長政がアユタヤに渡った1600年代は迫害されたキリシタンも多く移民し、人口がピークに増え約1500人の日本人が貿易商や傭兵として生活していました。米を栽培し、日本酒も作られ、宗教は自由で伸び伸びと生活していた様です。アユタヤの日本人町資料館では、当時の日本人たちの生活の様子を分かりやすく見る事ができました。



アユタヤでは、あちこちの店で大きなニワトリが売られているのを見かけました。寺院に奉納するためのモノらしいのですが、タイも日本と同じように干支があり、今年は酉年ということもあって、トゥクトゥクのボンネットなどにも飾られていました。ちなみに、タイの干支、北部の方では、ね・うし・とら・う・・・犬・猪の最後の猪が「象」なのだとか...?!





夕食はホテル近くパッポン通りにある中華レストランへ
安定の美味しさにホッとしました^^
今回はおかゆとパッタイを何度も食べました♪



テーブルに必ず置いてある4つの調味料
左上からナムターン（砂糖）・ナム・ソム・プリック（唐辛子入り
のお酢）・ナンプラー（魚醤）・ブリック・ポン（鷹の爪）
バッチリ使いこなして自分流にアレンジでして食べました♪

夜はホテルにて、タイに来て感じたことや普段なかな
か言えないことを手紙に込めて書きました。



バンコクの郵便ポストは、大きさではなく「バンコク圏内」
と「その他」とふたつに分かれていました。

旅行の醍醐味は、「日常」を離れて普段とは違うものを見て、
食べて、感じて、いつもとは違う視点を持つ事ができる事にも
あるかもしれません。普段当たり前と思っている事も、「日
常」を離れて改めて感じ、考えて、言葉にしてみる事も「新
たな自分自身の発見」ができる機会になると思います。



9月11日(月)最終日

市内バスに乗ってサイアムへ向かいます。
 エアコンなしのバスで、風が入ってきて気持ちいのですが、排気ガスも大量に入ってきているのをダイレクトに感じました><笑

サイアム・ディスカバリー・ショッピングセンターへ
 とってもおしゃれなショッピングセンターで、最上階のジムでは1dayパスでボルダリングなども利用できます。



ランチはフードコートにて
 写真は右奥から、パイナップルのチャーハン
 生春巻き・黒いのは昆布・ナツメ・クコ・きくらげ・レンコンも入った漢方のチャーというスイーツ!ととても不思議な味でした^^;



大都市バンコクで渋滞を避けるための大事な庶民の交通手段でもある、センセープ運河のボートにも乗りました。

毎年、慣れてきているのもあるせいか、綺麗に整えられているようにも感じますが…

昨年、急いでボートに乗ろうとした人が誤ってこの濁った川に落ちてしまい助ける事も出来なかったそうです。

この濁りでは、レスキューでもさえも、救助を拒むくらいなのでしょう・・・

みなさんくれぐれも落ちないように気をつけてください！！



ボートを降りたら、次の渡船場までトゥクトゥクに乗ります！！





トゥクトゥクに乗って王宮近くを通ると交通規制され、喪服を着た人々が長蛇の列を作っていました。多くの国民が1年の間に昨年亡くなった前国王に祈りをささげ、街中に（左写真のような）祭壇が作られているのを見かけました。どれだけ国民に愛されていた国王なのかが、伝わってきます。



王宮近くの渡船場でも喪服を着た多くの人がありました。

最近のチャオプラヤ川事情

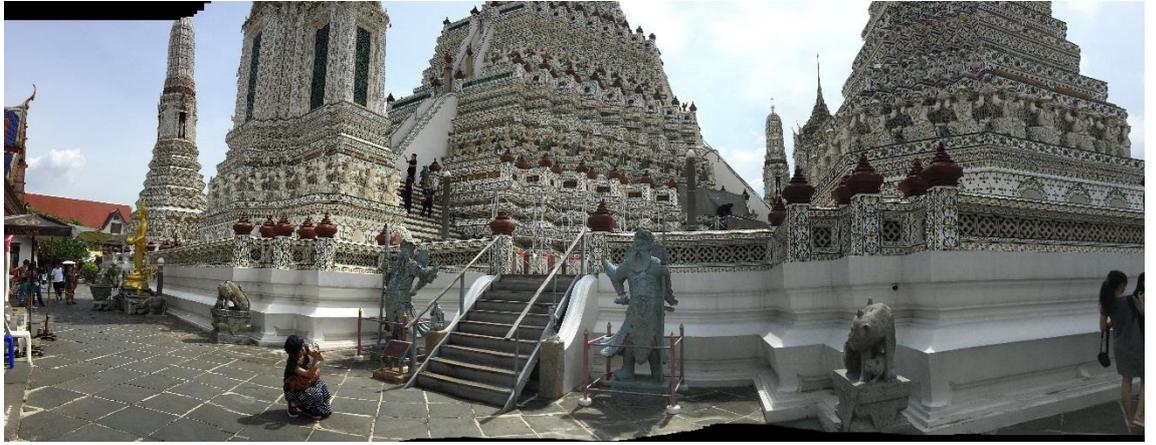
案内してくれたタイ人の Ab さんによると、昔に比べると、チャオプラヤ川の幅が狭くなったと話していました。

川辺のカフェなどリゾート化や、住む場所を求めて、無理やり川の上の家を建てているなどがその一因なのだそうです。タイは観光大国でもあり、私たちのように外国からの観光客が多くいます。勝手ながら...タイの本来の良さを残しながら発展して欲しいなと感じました。



川辺でこんな人にも出会いました^^笑
仮面ライダー1号?!





「美しい！！」という言葉がピッタリくるワット・アルン！「アルン」は「暁」の意味で、三島由紀夫の小説「暁の寺」の舞台としても有名です。修復工事が進み大仏塔・本堂にも入る事ができるよう。そこからのチャオプラヤ川の眺めも美しく必見です！



寺院観光の後は、カオサン通りのカフェにて休憩♪
たくさん歩いて疲れた時の甘い飲み物は格別ですね^^



旅行代理店や格安のゲストハウスなどが多くあるカオサン通りは、夕方になるとたくさんの露店でにぎわい、買い物も楽しめます！！



BTS に乗ってホテルへ戻る途中、あちこちでエアロビをしている人たちを見ました。
暑い国なので、涼しくなった夕方からの活動がメインになるのかな？！



タイ・最終日の夕食も「いつもの」中華レストランへ♪
安心・安定の美味しさにホッとします。



カオサンで買ったTシャツを着て^^ Y・M・C・A ♪



00 : 50 バンコク発→8 : 00 福岡着のフライトにて帰国しました

Y.Sさん： 初海外の初タイで楽しみにしていました。
初めての飛行機もテンション高く楽しく過ごせました。
二日目は、スラムへ行きました。世界には色々な人がいて、
世界観がゴロッと変わりました。ここで学んだ事を自分の生活に活かしたいと考えさせられました。
1つ1つの事が大切なんだと思いました。また、タイの生活など文化に驚きました。
日本にもありそうなものもあり、ワクワクしたり、日本とタイの違いを知って色々考えさせられました。
また来たいです。

T.Sさん： タイへの旅行は今回で3回目でした。タイへは1回しかいくつもり
がなかったのですが、タイの食事・観光地・街の雰囲気、タイは私を引き寄せる魅
力がありました。3回行って初めて新たな発見もあり、タイを案内する事ができる
くらい土地勘も身に付けました。来年も1人もしくは大学の友人と行くつもりで

T.Nさん：
象にえさをあげた。
TさんとYさんと仲良くバスに乗って遊んだ。

川原秀之： 今年で4回目のタイ・スタディツアー。
おかげさまで活動中に雨に降られることもなく予定通りに
活動することができました。行く毎に思う日本とタイの文化の違い。私
たちは日本で生活していることが当たり前で今ある価値観がタイで
は肯定も否定もない。違う価値観。訪れる度に感じるタイ文化。それに
魅力を感じる私。きっと来年も行っている私が想像できます。

今回のタイスタディツアーは、雨季の終わりという時期にも関わらずお天気に恵まれ、とても貴重
な体験をすることができました。今回で3回目の訪問の人もいれば、初めての海外旅行で初めての
飛行機という人もいましたが、訪れる度に新たな発見や気づきがあったり、出会いや再会があつた
り、日本での日常を離れて改めて自分の「日常」について考えさせられる機会ともなりました。参
加した生徒・卒業生・保護者の方にとってもたくさんの事を感じ取った旅であったようです。

3泊5日の旅行を通じて、タイ観光だけでなく、スラムで暮らす子ども達の現状や現地での生活・
文化に触れるために地元交通機関を使ったり、タイならではの料理を食べたり…などなどネットで
検索すればいつでも知り得る事ですが、実際に生で体験し感じる事があつた事と思います。また、
長時間ずっと一緒に時間を共有することで、普段見えない部分を分かり合う事ができたり、交流を
深める事もできとても有意義な時間となりました。

今回のタイツアーが、よい思い出として、これからの人生において広い視野をもつきっかけになれば幸いです。